

「探究基礎」ではどんなことを学ぶのでしょうか。そのねらい・授業内容・進め方を理解しましょう。まずは質問です。

Q1 今、日本が抱えている課題にはどんなものがありますか？

Q2 その問題を解決するためにどんな方法・手段がありますか？

では、となりの人と Q1、Q2 を共有してみてください。

Q1、Q2 は全員異なると思います。

これはみなさんが大学・社会に出てから直面する諸課題には、テストや受験のような“絶対的な一つの答え・正解”が必ず存在するわけではなく、さまざまな解決方法、つまりさまざまな正解があるということなのです。

課題研究メソッド P4～P6を読んでみよう！！

課題研究メソッドを読んで大切だと思った内容を書いてみよう

※教科の学習を通して多くの知識や思考方法を習得し、それらを使って様々な課題を見つけ、解決していくことのできる人材の育成を時習館高校では目指しています。

Q3 様々な課題を解決していくためにはどんな力が必要だと思いますか？

Q4 「探究」と「探求」の違いは何でしょうか？

時習館高校では 探究活動 を通して 様々な課題を解決していく力の育成 を目指しており、それらに必要な力（課題発見力、論理的思考力、協働学習力、表現力など）を表紙裏の“時習館ルーブリック評価表”としてまとめました。探究基礎ではこの“時習館ルーブリック評価表”に記載してある求められる力を高めるために様々な活動をしていきます。みなさん**高評価4**を目指し、積極的に取り組んでいきましょう！！

時習館探究活動 3年間の流れ

(1) 理系に進んだ場合 (SSH)

学年	科目名	内容
1年	探究基礎	2年生以降の探究活動に必要な協働学習力、情報活用力、数値処理力の育成
2年	SS 探究Ⅰ	物理・化学・生物・数学の4分野に分かれてグループ研究を行う。研究成果はポスター(日本語)にして発表する。
3年	SS 探究Ⅱ	2年生で研究した内容をさらに深める。研究成果はポスター(英語)にして発表する。

(2) 文系に進んだ場合 (SGH)

学年	科目名	内容
1年	探究基礎	2年生以降の探究活動に必要な協働学習力、情報活用力、数値処理力の育成
2年	国際探究	文化・言語・経済などの人文・社会科学内容についてグループ研究を行う。研究成果はポスター(英語)にして発表する。
3年	グローバル社会探究	文化・言語・経済などの人文・社会科学内容について個人研究を行う。研究成果はポスター(英語)にして発表する。

ファシリテーションスキル

集団で話し合う時に必要なことはどんなことでしょうか。

話し合いを円滑に進めるために「ファシリテーションスキル」を学びましょう！

○「ファシリテーション」とは？

社会では、自分一人で完結する仕事はほとんどありません。多くの場合、チームで知恵を出し合い、チームで協力して目標を達成します。そのチームという場を、主体的、創造的なものにするために「ファシリテーション」は大事な能力となります。ファシリテーションは、ある意味、リーダーシップ能力であり、コミュニケーション能力です。組織で働くビジネスパーソンとしては、ぜひ身につけておきたい能力の一つでもあります。

「ファシリテーション（facilitation）」とは、「促進する」「容易にする」「円滑にする」というのが原意。つまり、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶようにすることです。具体的には、集団による問題解決・アイデア創造・合意形成など、知的創造活動を支援し、促進していく働きを意味します。その役割を担う人を「ファシリテーター」と呼びます。会議でいえば進行役にあたります。

ファシリテーターは、チーム活動の二つのプロセスに関わっていきます。

一つは、段取り、進行、プログラムのような、活動の目的を達成するための外面的なプロセスです。

もう一つは、メンバー一人ひとりの頭や心の中にある内面的なプロセスです。具体的には、考え方や筋道などの思考的なプロセスや、感情の動きやメンバー同士の関係性などの心理的なプロセスです。

チーム活動を円滑に進めるには外面的なプロセスが大切ですが、成果や満足感を左右するのは内面的なプロセスです。チーム活動の中では、メンバーの考え方の枠組みや様々な思いがぶつかりあい、その感情も関係性も常に変化していきます。変化するからこそ、いろいろな考え方や新しい考えが生まれ、対立している人と合意形成ができます。まさにこれこそがチーム活動のダイナミズムであり、ファシリテーターは両方のプロセスに関わることで、人と人との相互作用を促進しているのです。

○「ファシリテーション」の4つのスキル

ファシリテーターに求められるスキルは広範囲に及び、活用分野によっても変わってきます。わかりやすいように、一般的な話し合いでのファシリテーションを念頭に紹介します。

1. 場のデザインのスキル・・・場をつくり、つなげる

何を目的にして、誰を集めて、どのようなやり方で議論していくのか、相互作用が起こる場づくりからファシリテーションは始まります。単に人が集まればチームになるわけではありません。目標の共有から、協働意欲の醸成まで、チームづくりの成否がその後の活動を左右します。中でも大切なのが活動のプロセス設計です。問題解決プロセスをはじめ、基本となるパターンをベースに、活動の目的とチームの状態に応じて一つひとつ段取りを組み立てていかなければなりません。

(活動のプロセス設計)

2. 対人関係のスキル・・・受け止め、引き出す

活動がスタートすれば、自由に思いを語り合い、あらゆる仮説を引き出しながら、チームの意識と相互理解を深めていきます。問題解決でいえば、発散のステップです。ファシリテーターは、しっかりとメッセージを受け止め、そこにこめられた意味や思いを引っ張り出していかなければなりません。具体的には、傾聴、復唱、質問、主張、非言語メッセージの解釈など、コミュニケーション系（右脳系・EQ系）のスキルが求められます。（自由に意見を出させ、チーム意識と相互理解を深める）

3. 構造化のスキル・・・かみあわせ、整理する

発散が終れば収束です。論理的にもしっかりと議論をかみあわせながら、議論の全体像を整理して、論点を絞り込んでいきます。図解を使いながら、議論をわかりやすい形にまとめていくのが一般的です。今度はロジカルシンキングをはじめとする、思考系（左脳系・IQ系）のスキルが求められます。加えて、図解ツールをできるだけ多く頭に入れておいて、議論に応じて自在に使い分けられなければいけません。（議論の全体像を整理して、論点を絞り込む 図解を活用）

4. 合意形成のスキル・・・まとめて、分かち合う

議論がある程度煮詰まってきたなら、創造的なコンセンサスに向けて意見をまとめていきます。問題解決でいえば、意思決定のステップです。多くの場合には、ここで様々な対立が生まれ、簡単には意見がまとまりません。対立解消のスキルが求められ、ファシリテーターの力量が最も問われるところです。ひとたび合意ができれば、活動を振り返って個人や組織の学びを確認し、次に向けての糧としていきます。

（創造的なコンセンサスに向け意見をまとめる。意見がまとまらない場合、対立解消のスキル）

○「集団で話し合う」場面（例）

- ・時習祭の企画を話し合う
- ・クラスマッチのメンバーを決める
- ・ゴミを減らすにはどうしたらいいか話し合う
- ・〇〇の性能を高めるにはどうしたらよいか話し合う
- ・地球温暖化を食い止めるにはどうしたらよいか話し合う

つまり自分一人では解決できない問題を考える際には、集団で話し合うことが必要となる。

「集団で話し合う」ときの役割分担

議長	<ul style="list-style-type: none">・話し合いのテーマを決め、必要な人を確保する・話し合いを支援し、最終的な意志を決定する・結論を実行する責任と結果に対する責任を負う
進行役（ファシリテーター）	<ul style="list-style-type: none">・中立的な立場から、話し合いの進行を舵取りする・メンバーの知恵を引き出し、最良の答えに導く
記録係	<ul style="list-style-type: none">・議論の内容を適宜記録して、進行を支援する・結論や合意事項を記録（議事録）に定着させる
監視者（タイムキーパー）	<ul style="list-style-type: none">・話し合いのルールを逸脱する人を監視する・時間内に話し合いが終わるよう、時間管理をする・議論の交通整理をして、納得性の高い結論を出す

◎ ファシリテーションスキルを考えながら各班で話し合しましょう。(時間20分)

【課題】

8月の午前10時、あなたたちが乗っていた飛行機が砂漠に落ちた。パイロットは死んでしまい、生き残ったのはあなたたちだけである。飛行機が落ちる前に見た景色から考えると、あなたたちがいるところは、自分たちが通ってきた飛行コースから約1キロ離れている。また、約30キロ離れたところに村があるらしい。砂漠は今、気温が45℃。正午になれば、さらに暑くなると思われる。あなたたちは今着ている服装で、奇跡的にケガはなかった。

それぞれのポケットにはハンカチしか入っていない。しかし、ぐちゃぐちゃになった飛行機の中から、頑張って10個のアイテムを集めることができた。この中から、無事生き残るために必要だと思われるアイテムを5つ、優先順位をつけて挙げよ。またその理由を示せ。

① 方位磁石 (1個)	② 懐中電灯 (1個)	③ 水 (2ℓ)	④ 鏡 (1枚)
⑤ サバイバルナイフ (1本)	⑥ 薄めの毛布 (3枚)	⑦ 航空地図 (1枚)	
⑧ パラシュート (1個)	⑨ チョコとあめ (一袋)	⑩ アルコール (500mℓ)	

【班の話し合いの記録】

- ・優先順位 1位 2位 3位 4位 5位
- ・理由

★ 話し合いが終わったら書記の記録をもとに議長が結果を発表する。(10分)

《各班の結果》

優先順位1位から番号を発表し、その理由も簡潔に述べる。

班	1	2	3	4	5
1					
2					
3					
4					
5					

★ 集団で話し合いをするときに必要なことは何だと思えますか？

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ファシリテーションスキル 野外活動（別紙配布）

1. 野外活動の持ち物、メニューを考えよう！ 楽しいグループ活動になりますように！

※ 野外活動終了後、探究基礎の時間に、野外活動のまとめ（代金の清算など）を行います。
購入した商品については領収書（レシート）を必ず持参すること。）

【内容】

- (1) メンバー表に名前を記入する
- (2) 班長・副班長を決めて話し合いをする
- (3) メニューと材料、予算（一人あたり 円）
- (4) レンタル物品と料金
- (5) 持ち物分担
- (6) その他（快く過ごすための班のルールなど）

【話し合いの時に気をつけること】

- (1) 話し合いは、スムーズに進みましたか？ その理由を考えましょう。
- (2) あなたはファシリテーションスキルを使って、話し合いができましたか。
- (3) 話し合いをする際に、重要なことを確認しましょう。

2. 野外活動の清算とともに、グループ活動の反省をしましょう。（別紙提出）

SSH・SGH 成果発表会

月 日 曜日 限

※先輩たちの探究活動の成果を聞き、自分の探究活動に活かそう！！

（傾聴力・論理的思考力）

○メモ

○今日の発表会で学んだことをまとめよう！

-
-
-

論理的思考力 1 月 日 曜日 限

(論理的思考力・協働学習力)

○メモ

○今日の授業で学んだことをまとめよう！

-
-
-

論理的思考力 2 月 日 曜日 限

(論理的思考力・協働学習力)

○メモ

○今日の授業で学んだことをまとめよう！

•

•

•

教育実習生講話

月 日 曜日 限

講演会では、普段なかなか聴くことができない講演を聴くことができます。講演から学んだこと、また講演をきっかけとして知りたいことなど、メモして活用しましょう。

(傾聴力・課題発見力)

○メモ

○今日の講話で学んだことをまとめよう！

-
-
-

探究基礎講演会

月 日 曜日 限

講演会では、普段なかなか聴くことができない各界の素晴らしい方々の講演を聴くことができます。

講演から学んだこと、また講演をきっかけとして知りたいことなど、メモして活用しましょう。

講師『
』

講演テーマ『
』

(傾聴力・課題発見力)

○メモ

○今日の発表会で学んだことをまとめよう！

-
-
-

ディベート入門

1. ディベートとは「議論を戦わせる」競技

ディスカッション…自分の主張（考え）を発表し、議論する（勝敗はない）

ディベート …ある特定のテーマの是非について、2グループの話し手が、無作為に賛成・反対の立場に別れて、第三者（審判）を説得する形で議論を行う（勝敗がある）
（注意）ディベートは「対戦相手を言い負かす」ゲームではない！

2. ディベートによって身につくスキル

- 客観的・批判的・多角的な視点が身につく。（広い視野と判断力）
- 論理的な思考ができるようになる。（論理的思考力）
- 自分の考えを筋道立てて効果的に、人前で堂々と主張できるようになる。（表現力）
- 情報収集/整理/処理能力が身につく。（情報収集・処理能力）
- 対立する側に立って、物事を考える習慣。（コミュニケーション能力の基本）
- 積極的に傾聴する力が身につく。 ⇒ フローシートへの記入方法をしっかり学ぼう！

3. 論題について

- ディベートは、論題をめぐって行われるゲームである。論題は「命題」の形をとる。

「命題」というのは、

「AはBである」

「AはCする」

「AはDすべきである」

のように主語・述語がそろっていて、一つの判断を示す形になっている文である。

- 論題は、議論の余地があり、話題性があり、論点が1つだけあるもの。論題は3種類に分けられる。
 - ① 事実論題 「超能力は存在する」など事実の有無
 - ② 価値論題 「ペットにするなら犬か猫か」などの価値判断
 - ③ 政策論題 「死刑制度は廃止すべし」などの有効性

4. ディベートの特徴

- ① 論題は一つのテーマを扱う

一つの論題について、各チームが肯定側否定側の立場に立って主張をする。複数の論題は扱わない。

- ② 肯定側と否定側に機械的に分かれる(じゃんけん、くじ引き等)

論題についての自分の意見に関係なく、無作為に、肯定側・否定側に分かれる。

- ③ ディベートは次の8つのスピーチで行われる。

1. 肯定側立論 ⇒ 2. 否定側質疑 ⇒ 3. 否定側立論 ⇒ 4. 肯定側質疑 ⇒
⇒ 5. 否定側反駁 ⇒ 6. 肯定側反駁 ⇒ 7. 審判

5. ステージと判定について

立論・・・論題を採用することに賛成・反対する理由を述べる。

質疑・・・相手の立論の内容について質問する。質疑では相手の議論のよくわからない点を聞きただし
たり、相手の議論の意図を明確にすることが目標。

反駁・・・立論の内容に対して反論を行う。相手が提示する賛成・反対の理由や、メリット・デメリットについて反論をする。自分たちの議論を立証する為に使う証拠資料もたくさん用意してお
かなければならぬ。

判定・・・審判がディベートの勝敗とその理由を伝える。肯定側と否定側の主張を聞いて、どちらがよ
りわかりやすい説明をしていたか、説得力があるか等を判断し、勝敗を決める。
あくまで議論の内容をもとに勝敗を決め、**自分の好みで勝敗を決めてはいけない。**

6. フローシート

ディベートの内容を書き留めるためのシート。

論題について肯定側・否定側がどのような主張をしていたか、またお互いの主張についての反論（反駁）
やそれについての受け答えをメモする。審判はフローシートの内容を最終的な勝敗の判定に使う。

7. フローシートの書き方（例）

① 記号化する：フローシートは、書いた本人がそこに書かれた内容がわかるように書く

- ・ 記号を使って書く 例) / = 増える × = 減る、無効
- ・ 略語を使って書く 例) 「定義 = 定」「メリット = メ」「デメリット = デ」

② ナンバリング、ラベリングする

- ・ ナンバリングとは、番号をつけること。発言内容を分けて書く
- ・ ラベリングとは、タイトルをつけること。ナンバリングした発言に簡単にタイトルをつける

③ 関連発言を線で結ぶ

ディベートでは、立論で出たメリット/デメリットが、発展しながら尋問や反駁で論じられていく。
これを「議論の伸び」と呼ぶ。フローシートを取る時には、この「議論の伸び」が視覚的にわかる
ように書く。

- ・ 以下の例のようにメリットとデメリットに段差をつけるとよい。

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	肯定側反駁	否定側反駁
(案)					
(ブ)					
(メ)① ...	→.....		→.....	→.....	→.....
	←.....		→.....		→.....
② ...	→.....		→.....		→.....
	←.....		→.....		→.....
		(デ)① ...	→.....	→.....	→.....
			←.....		→.....
		② ...	→.....	→.....	→.....
			←.....		→.....

フローシート記入例

シナリオディベート フローシート

論題 _____

組 番 氏名 _____

肯定側

否定側

勝者： 肯定側 ・ 否定側

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	否定側 第1反駁	肯定側 第1反駁	否定側 第2反駁	肯定側 第2反駁
()	()			()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

ディベート 資料 ① 各役割とルール

1. 基本的ルール

- ① 主張を審判に伝えなければならない。プレゼンテーションであることを意識する。
- ② 主張に根拠がなければならない。主張の出展が明確でなければならない。
- ③ 相手の主張に反論しなければならない。その際、誰が答えてもよい。
- ④ 反論は主張の直後になされなければならない。その際、相手を指名してもよい。
- ⑤ 証拠資料は要件を満たし、第三者が入手可能なこと。
- ⑥ メリット・デメリットには発生過程と重要性を述べること。
- ⑦ 得点が同点の場合は、「否定側の勝利」とする。

反則になる行為

- ① 非礼行為は慎まなければならない。感情論にはしらない。（マナーを守ること）
- ② 時間を守らなければならない。
- ③ 証拠を捏造してはならない。
- ④ 相手の議論を意図的に曲解してはならない。
- ⑤ 第二反駁で新しい議論を持ち出してはならない。

2. ステージの役割

肯定側立論 … 論題を肯定するためのプランを示し、そのプランからどのようなメリットが発生するかを論証するものとします。

否定側立論 … 現状維持の立場をとるものとし、主に肯定側のプランからどのようなデメリットが発生するかを論証するものとします。

質疑 … 立論の内容などについて質問を行い、質疑での応答は立論の補足として扱われます。

反駁 … 主に、メリット（あるいはデメリット）に対する反論、反論に対する再反論、メリットとデメリットの大きさの比較を行います。

3. 議論における注意事項

- ① 議論の論証のために、文献等をスピーチで引用することができます。引用に当たっては、証拠資料に関する細則に従わなくてはならない。なお、図や表を証拠資料として見せることはできません。
- ② 質疑で明らかとなった情報を議論に生かすためには、その後の立論や反駁で改めて述べる必要があります。
- ③ 相手が持ち出した主張・根拠に反論する場合を除き、立論で提出されず反駁で新たに提出された主張や根拠は、「新しい議論」と呼ばれ無効となります。第1反駁で出せる反論を、第2反駁ではじめて出すことは「遅すぎる反論」と呼ばれ無効となります。

4. スピーチと判定について（説明）

★立論・・・論題を採用することに賛成・反対する理由を発表します。

ディベートではメリット・デメリットの大きさが判定を決めます。

「AはBすべきである」のような形の政策論題では、政策（Bすべきである内容）の具体的な説明を肯定側が提示し、それについてメリット・デメリットを議論します。それらメリット・デメリットは発生する理由（発生過程）と発生したときの影響（重要性・深刻性）に分かれています。こうして想定されたメリット・デメリットを発表するのが立論者の仕事です。

もちろん、その内容は原稿の形で作っておくので、立論者はそれを読むことになります。しかし、ディベートでは当然のことながら話した内容だけが議論の対象となります。そしてもう一つ大事なのは、立論を読んだ後に受ける質疑に答える必要があります。ただ渡された原稿を読むだけでなく、その内容やチームの方針を熟知していないと、質問でぼろが出てしまいます。

★質疑・・・相手の立論の内容について質問します。

ディベートの中で唯一相手のチームと直接相対するところです。立論者相手に質問の主導権を握れるというある意味最も攻撃的なところから、ディベーターの中でも根強い人気があります。

質疑では相手の議論のよくわからない点を聞きなおしたり、相手の議論の意図を問い直し、明確にすることが目標です。聞き取れなかったことを確認するのは当然ですが、相手が何を言いたいのかをはっきりさせることが大事です。上手な質疑者は、決して質問の時間に反論をしません。相手に周到に質問し、最終的には絶対に相手に答えさせます。そして、一番いいところは反駁の人に回してあげるのです。要するに質疑はその後の議論をサポートする存在なのですが、決まれば勝敗を左右する議論につながるため、とてもやりがいのある仕事でもあります。よって、質疑者は反駁者と打ち合わせ、後につながるような質問をする必要があります。

★ 第1反駁^{はんぱく}・・・立論の内容に対して1回目の反論を行います。

ディベートのルールでは、一度無視した（反駁の機会があったのにそのステージで反論しなかった）議論については反駁できないというルールがあるので、重要な議論に対してはこの第一反駁で全て触れておく必要があります。

第一反駁は、とにかく相手の議論を叩く仕事です。特に否定側の第1反駁は相手への反駁しかしなくていいので、壊し屋のような爽快感が味わえます。一方で肯定側の第1反駁は相手への反駁とともに自分たちの立論を守るための再反駁をする必要があるため、非常に大変です。ですから肯定側第一反駁はディベートの中でも最も難しいもの一つと言えます。

ディベートで勝つためには、メリット・デメリットを比べたときの大きさを勝つ必要があります。第1反駁の仕事は、細かい議論で自分たちの有利な状況を作り出し、次の反駁で両者を比較する際に自分たちを勝たせることができるような材料を揃えてあげることです。ですから、第1反駁では個々の論点について激しい応酬がなされます。自分たちの議論を立証するために使う証拠資料もたくさん用意しておかなければなりません。

★ 第2反駁^{はんぱく}・・・試合全体の総括を兼ねた、2回目の反論を行います。

このスピーチがチームのラストスピーチなので、自分たちが試合で勝っていることとその理由をここで述べる必要があります。勝っている理由というのは、「メリット・デメリット比較の観点」と「比較材料の選択」です。要するに第2反駁はジャッジの気分になって判定スピーチを考えるような仕事をするわけです。自分たちの議論がどの観点から見て相手より勝っているのかを踏まえて、自分たちがそれまでの議論で勝っている部分を使って説明します。

5. 審判（ジャッジ）の心得

- ① 論題への偏見を捨てる
- ② ディベーターへの個人的感情を捨てる。
- ③ 主張の根拠が明白で、合理的な分析がなされた上の発言か確認する。
- ④ 判定しようとする試合の内容だけを根拠とする。
- ⑤ ルール違反に厳しく対処する。

試合の判定は、別に定める細則（判定に関する細則・下記参照）にもとづき審判が行います。メリットがデメリットより大きいと判断される場合には、肯定側の勝利、そうでない場合には、否定側の勝利となります。引き分けはありません。

《マナー》 ディベートでは、マナーを守ることが大切です。相手を尊重し、誹謗中傷してはいけません。

参考（ディベート甲子園のルール）

☆ ディベートは、与えられた論題について肯定側と否定側に分かれて討論します。

- 1チームは原則として、立論・質疑・第一反駁・第二反駁の各担当者、計4人で構成されます。
- 試合は司会者の指示によって進行します。選手・聴衆は、司会者の指示に従わなくてはなりません。
- 各スピーチでの持ち時間は、ステージごとに決められています。スピーチの順番は以下のとおり。

肯定側	立論 6分			質疑 3分		第1反駁 4分		第2反駁 4分
否定側		質疑 3分	立論 6分		第1反駁 4分		第2反駁 4分	

※ 準備時間が各スピーチの前に1分ずつ(肯定一駁・否定二駁・肯定二駁の前は2分)与えられる。

- 4種類のスピーチのうち、質疑だけは、直前の立論担当者に直接1対1で質問する形で進められます。それ以外のスピーチでは、原則として1人の選手が話している最中に、他のディベーターが発言することはできません。

☆ 審判は、個々のメリットあるいはデメリットについて、以下の3点について検証を行い、大きさの判断を行います。

1. プランを導入しなければ、そのメリットあるいはデメリットは発生しないこと。
2. プランを導入すれば、そのメリットあるいはデメリットが発生すること。
3. そのメリットあるいはデメリットが重要・深刻な問題であること。

審判は、個々のメリット・デメリットの判断をもとに、メリットの合計とデメリットの合計の比較を行い、どちらに投票するかを決定します。その際、比較の価値基準が試合中に提示されていれば、その立証の程度に応じて反映します。判断基準が示されなかった場合は、審判の判断に委ねられます。

6. ディベートの準備

ディベートで大事なものは、試合でのスピーチだけでなく、**事前の準備**が必要です。

ディベートでは事前にいろいろな質疑を想定して準備をしていきます。試合では、議論の内容や反駁に使う資料、最後の第二反駁でのまとめ方など、事前に用意してきたことを発揮する場になります。この事前の準備こそがディベートの大きな楽しみでもあります。

※ **必ず、すべて自分で考えましょう！受け売りでは具体性に欠けます。**

《手順》

- ① リンクマップの作成 … 論題から考えられるメリット・デメリットをできるだけ多くリンクマップを使いピックアップする。
- ② 概要情報の収集 … 検討すべきメリット・デメリットの補助となるデータを収集する。
- ③ 最適メリットの選択 … もっとも強いものを選び発生過程を理解し、本当に論理的かを検証する。
- ④ 仮立論の作成 … 立論に採用するメリットが決まったらそれをベースに仮の立論を作成する。
ナンバリングをしてわかりやすく。（第一に・・・、第二に・・・のように）
- ⑤ データ収集 … 立論を強化する具体的なデータを収集する。この際、出典を明らかにしておくこと
- ⑥ 立論推敲 … データがそろったところで立論をデータで補強する。
指定時間に収まるかを検討する。
- ⑦ 反駁検討 … 立論がほぼ完成したら、考えられるデメリットへの反駁を考える。
（全国優勝するようなチームは、質問や反駁は、数百種類くらい準備するそうです。）
- ⑧ 最終準備 … 指定時間内に言えるか練習する。

《リンクマップ参考例》

《肯定側立論の述べ方》

① 定義

まず定義を述べます。

〇〇とは、〇〇のことです。

〇〇とは、〇〇のことです。

………… (同様に) ………

② プラン

次にプランを〇点にわたって述べます。

第一に、～します。

第二に、～します。

第三に、～します。

………… (同様に) ………

③ メリットの型 この述べ方の原則は、主張の後には必ず根拠を入れることである。

以上のプランから生じるメリットを〇点述べます。

第一のメリットは、「〇〇〇」ということです。

なぜこのメリットが重要かを述べます。

…… (メリットの重要性を説明する) ………

なぜこのメリットが生じるかを述べます。

…… (発生過程を説明する) ………

第二のメリットは、「〇〇〇」ということです。

なぜこのメリットが重要かを述べます。

…… (メリットの重要性を説明する) ………

なぜこのメリットが生じるかを述べます。

…… (発生過程を説明する) ………

…… (以下同様に) ………

《否定側立論の述べ方》

① 定義 と ② プラン

- 定義は肯定側に従います。
- 否定側は現状を指示する立場をとります。

③ デメリットの型

- 肯定側メリットと同様に、「デメリットの深刻性」と「発生過程」の2点を述べる。

ディベートはチームワークが大切です！ 頑張りましょう。

○ 論題

ディベートのテーマに当たるもの。肯定側の立場と否定側の立場を分ける基準になる。

○ 立論

ディベートの最初に肯定側・否定側の両方が最初に行うスピーチ。

メリット・デメリット比較方式の立論では、「定義」「プラン」「メリット/デメリット」の3点が含まれることが条件である。

○ 肯定側

論題を肯定する側。

○ 否定側

論題を否定する側。

○ 反対尋問

立論に対し、反対側の立場の者が質問し、立論をした側が答える。立論の構造、証拠資料の内容、相手側の主張の前提を確認することが基本である。

○ 定義

肯定側は自らのプランが論題の範囲内であることを示す必要がある。そのため論題中の言葉を明確にする。定義は肯定側が示した妥当なものであればよい。

○ プラン

肯定側が示す論題の範囲内にある行動計画。

○ メリット

プランから生じる良いこと。

○ デメリット

プランから生じる悪いこと。

○ フローシート

ディベートの議論を立論・尋問・反駁の時系列にそって、論点を整理しつつ記録する用紙。

ディベート競技者、審査員はいずれもフローシートをとらなければならない。

○ リンクマップ

プランから生じるメリットやデメリットの因果関係や論理的理由付けの関係を示しつつ、図示したものの。議論の構築や作戦の準備に役立つ。

○ 論点

当事者において、命題の正否が争われているポイント。

○ 根拠

ある主張が正しいとされる理由。根拠には論理的理由付けと証拠資料がある。

○ 論理的理由付け

根拠の中で、証拠資料を伴わずに、論理的なつながりの正しさを理由とするもの。

○ メリットの重要性 / デメリットの深刻性

メリットやデメリットが価値的に重要であることの説明。肯定側の価値は重要性、否定側のマイナス価値は深刻性と呼ばれる。

○ ラベリング

ひとまとまりの主張を短文やキーワードにまとめ上げること。

○ ナンバリング

ひとまとまりの主張に通し番号をつけること。

○ ターンアラウンド

T/A。別の理由付けを用いることで、相手側の論拠や主張から自分の有利な主張を導くこと。特にメリットからデメリットの転換、あるいはその逆について用いられる。

シナリオディベート

「日本は全ての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か。」

シナリオディベートの実施方法（少人数で行う場合）

1. 3人一組になります。
2. 肯定側、否定側、審判をそれぞれ受け持ちます。
審判から見て左に肯定側、右に否定側が来るように座ります。
3. 試合と同じように時間を計って、肯定側、否定側は順番にシナリオを読み上げます。
4. 審判はフローシートにできるだけ詳しく、聞き取った内容を書き留めます。
5. 書き留めた内容を元に、どちら側の方が説得力があったかを審判は判定し、勝敗を出します。
6. 役割を交替して2試合目を行います。肯定側だった人が否定側に、否定側だった人が審判に、審判だった人が肯定側になります。

シナリオ「日本は全ての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か。」

司会：論題は、「日本は、全ての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か」です。

肯定側のプランは、3点です。

プラン1 原子力発電所と関連施設を2020年までに全廃します。

プラン2 代替発電は、石油火力発電とします。

プラン3 原発の解体費用は、国が負担します。

否定側のプランは、現状維持です。

ただいまから、試合を開始します。

肯定側立論4分間です。はじめてください。

肯定側立論（4分）

肯定側立論を始めます。

まず、定義をします。原発とは、原子力発電所のこととします。

私たち肯定側が主張するメリットは、「放射能漏れがなくなる」です。以下メリットについて、A、B、Cの3段階に分けて説明します。

Aは、「耐震性」です。ここでは、原発の耐震性が不十分で、放射能が漏れるということを説明します。

1点目。原発は、大地震が直撃する可能性があります。しかし、耐震設計は不十分です。雑誌「サンデー毎日」99年11月21日号で、神戸大学教授、石橋克彦（いしばしかつひこ）氏は、次のように述べています。引用開始。

「そもそも、日本列島の地震の起こり方の理解が進んだ今となつては、列島を縁取る16の商業用原発（原子炉51基）のほとんどが、大地震に直撃されやすい場所に立地している。（中略）また、活断層が無くてもマグニチュード（M）7級の直下地震が起こりうることは現代地震科学の常識であるのに、原発は活断層の無いところに建設するという理由でM6.5までしか考慮していない。」引用終了。

2点目。その結果、莫大な量の放射能が原発の外に漏れます。雑誌「サンデー毎日」99年11月21日号で、神戸大学教授、石橋克彦氏は次のように述べています。引用開始。

「要するに、日本中のどの原発も想定外の大地震に襲われる可能性がある。その場合には、多くの機器・配管系が同時に損傷する恐れが強く、多重の安全装置がすべて故障する状況も考えられる。しかしそのような事態は想定されていないから、最悪のケースでは、核暴走や炉心溶融という『過酷事故』、さらには水蒸気爆発や水素爆発が起こって、炉心の莫大な放射性物質が原発の外に放出されるだろう。」引用終了。

このように、大地震が起こると、耐震性が不十分なため、放射能が漏れてしまいます。

Bは、「試算」です。ここでは、事故の被害の大きさについて説明します。

大事故が起こると、多くの方が亡くなります。雑誌「科学」97年10月号で神戸大学都市安全研究センター、石橋克彦氏は、次のように引用しています。引用開始。

「瀬尾によると、出力110万kWの浜岡3号炉が大事故を起こした場合、風下側17km以内で、90%以上の人が急性死し、南西の風だと首都圏を中心に434万人が晩発性障害（がん）で死ぬという。」引用終了。

このように大事故によって、大変多くの被害が出るのです。

Cは、「リスクの消滅」です。ここでは、原発を代替発電に切り替えることによって、事故のリスクがなくなることを説明します。

1点目。原発は、安全に解体することが出来ます。

証拠資料を引用します。出典は、98年発行、資源エネルギー庁公益事業部編集「'98年原子力発電」です。引用開始。

「原子力発電施設の廃止措置は、海外においては15基程度の原子炉において実施され、そのうちいくつかについては解体撤去も完了しています。国内でも、日本原子力研究所動力試験炉（JPDR）の解体撤去が1996年3月に計画通りに完了しました。これらの実績が示すとおり、現状においても解決しなければ廃止措置が実施できないような技術的な課題は存在しません。」引用終了。

2点目。肯定側のプランを導入すると、原発は解体されることとなります。

3点目。解体後は原発がなくなるので、放射能が漏れる可能性はゼロになります。

このように、肯定側のプランを導入することによって、深刻な放射能漏れがなくなります。このような深刻な事態を防ぐために、原発を代替発電に切り替えるべきです。

以上で、肯定側の立論を終わります。

司会：時間です。準備の時間1分間です。

否定側準備時間（1分）

司会：否定側から肯定側への質疑は2分間です。始めてください。

否定側質疑（2分）

否定側質問者： 否定側質疑を始めます。よろしくお願ひします。

肯定側応答者： よろしくお願ひします。

否定側質問者： プランの2点目で、代替発電は石油火力発電にすることなのですが、これは既存の石油火力発電所の稼働率を上げて対応するというのでしょうか？

肯定側応答者： 基本的にはそうですが、足りない場合は新規建設をします。

否定側質問者： わかりました。次にいきます。A「耐震性」の1点目と2点目、論点B「試算」の1点目の証拠資料は、全て石橋克彦氏が書いたものでしたね？

肯定側応答者： はい、そうです。

否定側質問者： 石橋氏が、専門的に研究されていることは、何ですか？

肯定側応答者： 地震学の教授です。

否定側質問者： ということは、原発の専門家では、ないですね。

肯定側応答者： 地震の専門家ですから、建物が壊れるか壊れないかということはわかるはずですが、それに、様々な所で地震による危険性について話されているので、原発にも詳しいはずですが。

否定側質問者： わかりました。B「試算」の1点目で、大事故時の被害の試算を述べられていますが、証拠資料中に「瀬尾によると…」とあったのですが、これはどういうことですか？

肯定側応答者： それは、京都大学原子炉実験所助手の瀬尾健（せおたけし）氏が95年発行「原発事故…その時、あなたは！」に載せている試算を、石橋氏が引用したということです。

否定側質問者： その瀬尾氏は、どのようにこの試算を出されたのですか？

肯定側応答者： それは、わかりませんが、原子炉実験所の研究者ですから、それなりに計算して出されたはずですが。

否定側質問者： わかりました。次にいきます。A「耐震性」の1点目の証拠資料は、要するに「原発は活断層を避けて建てているが、実は活断層が無いところでもM7級の地震が起きるので危険だ。」ということですか？

肯定側応答者： はい、そうです。

否定側質問者： これで否定側質疑を終わります。ありがとうございました。

肯定側応答者： ありがとうございました。

司会： 時間です。準備時間 1 分間です。

否定側準備時間（1分）

司会： 否定側立論 4分間です。始めてください。

否定側立論（4分）

否定側立論を始めます。

私たちが主張するデメリットは「地球温暖化」です。以下デメリットについて、A、B、Cの3段階に分けて説明します。

Aは、「二酸化炭素」です。二酸化炭素は温室効果ガスで、増えれば増えるほど温暖化の影響が大きくなることを説明します。

1点目。二酸化炭素は、温室効果ガスです。

2003年発行、「環境年表 2004/2005」で、電力中央研究所、梨本真（なしもとまこと）氏は次のように述べています。引用開始。

「温室効果ガスにはさまざまなものがあるが、代表的な物質は二酸化炭素、フロン、メタン、亜酸化窒素および対流圏オゾンで、その発生源、濃度、増加率、温暖化への影響度などはそれぞれのガスで異なっている。」引用終了。

2点目。二酸化炭素が増えれば増えるほど、温暖化は促進されます。なぜなら、温室効果ガスの排出が、

少なければ少ないほど、温暖化の影響が小さくなるからです。

証拠資料を引用します。

出典は、2002年発行、「IPCC 地球温暖化第三次レポート 気候変化 2001」です。引用開始。

「温室効果ガスの排出削減量が大きければ大きいほど、また削減の開始が早ければ早いほど、予測される気温および海面水位の上昇はより小さくまた遅くなる。」引用終了。

このように、二酸化炭素が増えれば増えるほど、温暖化は促進されます。

Bは、「二酸化炭素の増加」です。ここでは、原発を代替発電に切り替えることによって、二酸化炭素が増加することを説明します。

1点目。石油火力発電は、原発より多くの二酸化炭素を出します。

国立教育政策研究所、統括研究官、工藤文三氏ら編集、2002年発行「6,000,000,000人のエネルギーと地球環境エネルギー」内の図「各種電源ライフサイクル二酸化炭素(CO₂)排出量(メタンを含む)」によれば、1 kWhあたりの排出量は、・原子力発電 22.0~25.0g ・石油火力発電 742.1gとなっており、約30倍も増加することになります。

2点目、実際、東京電力が原発を停止したときに、二酸化炭素の排出量が増加しました。

証拠資料を引用します。出典は、2004年発行「原子力年鑑 2005年度版・各論」です。引用開始。

『TEPCO(テプコ)環境行動レポート 2003』は、2002年度は販売電力が2.3%増加したと報告している。」引用終了。

よって、肯定側のプランを導入すると、温室効果ガスが増加し、温暖化がより進行します。

Cは、「温暖化の影響」です。ここでは、温暖化の影響の大きさについて説明します。

地球温暖化の被害は甚大です。

証拠資料を引用します。出典は、2002年発行「平成13・14年度版 交通関係エネルギー要覧」です。引用開始。

「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)報告書では、21世紀末には、1990年度に比べて地球全体の気温が約1.4~5.8℃、海面が約9~88 cm上昇し、豪雨や渇水の回数の増加、熱帯・亜熱帯地域での食料生産の低下、マラリアの患者数の増加、地球全森林の3分の1での現存の植物種の生育が困難になる等の被害が生じると指摘しています。」引用終了。

このように、温暖化の被害は甚大です。そのうえ、全世界60億の人々がこの影響を受けるのです。よって、少しでも二酸化炭素の排出量を減らし、手遅れにならないようにしなければなりません。

以上で終わります。

司会：時間です。準備時間1分間です。

肯定側準備時間(1分)

司会：肯定側から否定側への質問は2分間です。始めて下さい。

肯定側質疑(2分)

肯定側質問者： 肯定側質疑を始めます。よろしくお願いします。

否定側応答者： よろしく申し上げます。

肯定側質問者： デメリットは「地球温暖化」ということでしたが、プランによって温室効果ガスである二酸化炭素が増えるので、温暖化が進むということですね。

否定側応答者： はい、そうです。

肯定側質問者： 現在、世界全体では二酸化炭素はどのくらい排出されているのですか？

否定側応答者： 2003年発行「エネルギー・経済統計要覧 2003年度版」によれば、2000年において炭素換算で64.22億トン排出されています。

肯定側質問者： 日本はどのくらいですか？

否定側応答者： 同じく「エネルギー・経済統計要覧」によれば、2000年で日本は3.28億トン排出しています。

肯定側質問者： B「二酸化炭素の増加」で、二酸化炭素の排出量が増えるとおっしゃいましたが、肯定側のプランを導入することで具体的に3.28億トンが何トンになるかはわかりますか？

否定側応答者： それはわかりませんが、1kWhあたりで約30倍になるということです。

肯定側質問者： ということは、温暖化が進むということでしたが、具体的にはどの程度進むかはわかりませんということですか？

否定側応答者： どの程度かはわかりませんが、二酸化炭素が増加することで、確実に温暖化は進行します。

肯定側質問者： そもそも現状でも温暖化になりますよね。

否定側応答者： はい、そうです。ただ肯定側のプランによって、より進むということです。

肯定側質問者： ということは、C「温暖化の影響」の1点目で温暖化の影響についておっしゃっていましたが、それは現状維持でも起こるとということですか？

否定側応答者： はい。ただ、肯定側のプランを導入することによって、その影響が大きくなるということです。

肯定側質問者： これで、肯定側質疑を終わります。ありがとうございました。

否定側応答者： ありがとうございました。

司会：時間です。準備時間1分間です。

否定側準備時間（1分）

司会：否定側第1反駁3分間です。始めてください。

否定側第1反駁（3分）

今から否定側第1反駁を始めます。大きく分けて、A「耐震性」とB「試算」の2箇所に反駁します。

まず、A「耐震性」の1点目に2点反駁します。

1点目。そもそも地震は確実に起こるとは限らないので、大事故はめったに起こりません。

2点目。質疑で確認したように、A「耐震性」の1点目で用いられている証拠資料の内容は肯定側は「原発は活断層を避けて建てているが、実は活断層がないところでもM7級の地震がおきるので危険だ。」としています。しかし、大地震に原発は襲われません。なぜなら、地震は活断層に沿って起き、新たな活断層が発生することはないからです。

富士常葉大学学長、徳山明（とくやまあきら）氏は、2000年発行「原発ごみはどこへ」の中で次のように述べています。引用開始。

「地震はこの活断層に沿って起きるので、原子力発電所の立地にあたっては活断層を避けることが必須条

件である。(中略) 過去数十万年にわたって国内の地殻の変化を調べても、断層活動は既存の活断層帯でしか繰り返されていない。その結果、地質学上は少なくとも今後数万年の間に新たな活断層が誕生することはほとんどないと推察されている。」引用終了。

以上により、メリットは発生しません。

次にB「試算」の1点目に2点反駁します。

1点目。この試算は、算出方法がわからないので、あてになりません。

2点目。実際、チェルノブイリでは、肯定側が主張するほどの被害は出ていません。

証拠資料を引用します。出典は、「資源エネルギー庁 HP」です。

<http://www.atom.meti.go.jp/siraberu/qa/00/anzen/10-008.html>

なお、資料中の「この事故」とはチェルノブイリ事故のことです。引用開始。

「この事故による死者は31名(うち2名は火傷による)、急性放射線障害を起こして入院した人は203名となっています。(中略) これらのことは、国際原子力機関(IAEA)のIAEA事故後評価専門家会合におけるソ連報告(1986年8月)、放射線影響調査の報告(1991年5月)、及び日本の原子力安全委員会のソ連原子力発電所事故調査報告書(1987年5月)で明らかになっています。」引用終了。

以上より、メリットは重要ではありません。

これで、終わります。ありがとうございました。

司会：時間です。準備時間2分間です。

肯定側準備時間(2分)

司会：肯定側第1反駁3分間です。始めてください。

肯定側第1反駁(3分)

肯定側第1反駁を始めます。デメリット、メリットの順に議論をみていきます。

最初に、デメリットです。

まず、A「二酸化炭素」に1点反駁します。質疑で確認したように、温暖化は現状維持でも発生するので、デメリットとは言えません。

次に、B「二酸化炭素の増加」に1点反駁します。増加する二酸化炭素はほんの少しです。

なぜなら、日本の二酸化炭素排出量は、 $3.28 \div 64.22 \times 100$ を計算すると、世界の排出量のうちたったの5.1%ぐらいであることがわかります。さらに、今回増加するのは、そのうちのほんの一部である、原発を火力発電に代替した場合の二酸化炭素排出量だけです。よって温暖化は進行しません。

最後に、C「温暖化の影響」に2点反駁します。

1点目。温暖化の影響について、否定側は述べられていますが、質疑でも確認したように、これは現状でも起こる被害です。

2点目。原発を代替発電に切り替えることによってどのくらい温暖化が進むか、立論では具体的にありませんでした。よって、デメリットはあいまいなので深刻な問題とはいえません。

今度は、メリットをみていきます。

A「耐震性」に2点反駁がありました。その中の2点目に1点反駁します。大地震は活断層以外でも起こります。

雑誌「科学」97年10月号で神戸大学都市安全研究センター、石橋克彦氏は、次のように引用しています。

引用開始。

「つまり、活断層がなくても直下の大地震がおこる。現に、1927年北丹後地震（M7.3、死者2925人）、1943年鳥取地震（M7.2、死者1083人）、1948年福井地震（M7.1、死者3769人）などは、いずれも地表地震断層を伴う海岸近くの直下地震だが、活断層が認識できないところで発生した。」引用終了。

よって、活断層を避けて建設していても、大地震が原発を襲う可能性は十分あるのです。

次に、B「試算」に2点再反駁します。

1点目。否定側の1点目の反駁に対して再反駁します。瀬尾氏は、原子炉実験所の助手なので、試算は十分信憑性があります。2点目、チェルノブイリの例よりも、日本のことを考えている試算の方がより信憑性があります。なぜなら、日本とロシアでは、原発の型や人口密度が違うからです。

以上で終わります。

司会：時間です。準備時間2分間です。

否定側準備時間（2分）

司会：否定側第2反駁3分間です。始めてください。

否定側第2反駁（3分）

否定側第2反駁を始めます。

まず、メリットの議論からみていきます。

A「耐震性」ですが、否定側第1反駁の1点目で述べたように、原発を破壊するような地震が確実に起こるとはいえない点を確認してください。

次に、B「試算」にいきます。

1点目。確かに、瀬尾氏は原子炉実験所の助手ですが、根拠がわからないので信憑性はありません。

2点目、また、否定側第1反駁の2点目で述べたように、実際に起こった事故では、肯定側が主張するほどの被害は出ていません。

以上2点より、根拠のわからない試算よりも、同じ原発で実際に起こった事故を基に被害を想定すべきです。

以上をまとめると、メリットで防げる事故は、確実に起こるものではなく、原発周辺住民約31人の命が守られるというものです。

次に、デメリットの議論をみていきます。

まず、A「二酸化炭素」について再反駁します。

確かに温暖化は現状でも起こりますが、否定側立論の2点目で述べたように、温室効果ガスを減らせば減らすほど、その影響は小さくなります。よって、地球温暖化は肯定側のプランによって引き起こされるものです。

次にB「二酸化炭素の増加」に2点再反駁します。

1点目。肯定側は、量が少ないと反駁しただけで、排出量が増えることは、認められました。

2点目。プラン後に増加する二酸化炭素の排出量は、けっして少なくありません。なぜなら、否定側立論の2点目の証拠資料でも言っているように、原発を一時停止しただけで、東京電力は23%も二酸化炭素の排出量が増加しているからです。

よって、否定側立論のA「二酸化炭素」で証明したように、排出量が増加すればするほど温暖化は進行す

るので、デメリットは確実に発生すると言えます。

最後に、C「温暖化の影響」についてです。

肯定側は第1反駁の2点目で、どのくらい温暖化がすすむのかわからないので深刻ではないと主張されましたが、それは間違っています。なぜなら、立論で述べたように、温暖化は全世界60億人におよぶ大変大きな問題だからです。変化は小さくとも、被害を及ぼす範囲は大変大きいのでこれは深刻な問題です。

以上をまとめると、デメリットは、地球温暖化という深刻な事態を確実に促進させるという、大変大きなものだといえます。

よって、以下の2つの理由から、メリットよりデメリットの方が深刻です。

1点目。原発事故は、確実に発生するかわかりませんが、温暖化の促進は発生が確実だからです。

2点目。原発事故は、影響が原発周辺や日本に限られますが、温暖化の促進は地球規模で60億人に被害を与えるからです。

以上で、否定側第2反駁を終わります。ありがとうございました。

司会：時間です。準備時間2分間です。

肯定側準備時間（2分）

司会：肯定側第2反駁3分間です。始めてください。

肯定側第2反駁（3分）

肯定側第2反駁を始めます。

デメリット、メリットの順に議論を整理していきます。では、デメリットについてみていきましょう。

デメリットは「地球温暖化」でした。今使われている原発よりもプラン後に使われる火力発電の方が多くのCO2を出してしまい、それが地球温暖化を進める、というものでした。

まず、A「二酸化炭素」についてです。これは否定側も認めていますが、温暖化は現状維持でも起こる問題です。

次にB「二酸化炭素の増加」についてです。結局、原発を石油火力発電に切り替えて増加する二酸化炭素の量は、世界の5.1%のさらにその一部分だけなのです。よって温暖化が進行する量は大変小さいと言えます。

最後にC「温暖化の影響」についてですが、結局肯定側のプランを導入することによって、どれだけ温暖化が促進されるのかわかりませんでした。以上をまとめると、デメリットは現在でも起こりうる問題であり、発生したとしてもプランによって、どれだけ温暖化が促進されるかは曖昧です。

次にメリットをみていきましょう。

まず、A「耐震性」についてです。

肯定側立論の1点目に関してですが、原発を大地震が襲う可能性は十分にあります。なぜなら、肯定側第1反駁で述べたように、活断層が無いところでも大地震が起きた例があるからです。そのため原発の耐震設計は十分でないことが分かります。その結果、2点目で述べたように地震がくると耐えられず、莫大な放射能が原発の外に漏れるのです。

次に、B「試算」についてですが、原発で放射能が漏れると、立論で述べたように非常に大きな被害が起

きます。なぜなら、人口密度や原発の型が違うチェルノブイリの例より、日本の原発について考えて出された瀬尾氏の試算の方が信憑性があるからです。

最後に、C「リスクの消滅」についてです。

否定側からは、この点に関しては反論がありませんでした。よってこの点に関しては、立論どおりに私たちの主張が認められ、現状で存在する事故がおきる可能性が、肯定側のプランによって、完全になくなるといえます。

以上をまとめると、現状では、地震による放射能漏れ事故が起きる可能性を、プランによって完全になくすことができます。よって、プランによる変化がわからないデメリットより、多くの命を守るメリットの方が大きいと言えます。

したがって、原発は代替発電に切り替えるべきです。

以上で、肯定側第2反駁を終わります。

司会：時間です。試合終了です。両チームのみなさんお疲れ様でした。

※出典：『DVD 教材テキスト ディベートで学ぶエネルギー問題』全国教室ディベート連盟東海支部

《審判（ジャッジ）スピーチ シナリオ》

- コメント
1. 肯定側、否定側のディベーターのみなさんお疲れ様でした。
 2. ○○な試合でした。
 3. 肯定側のよいところは○○で、直したほうがいいところは××です。
 4. 否定側のよいところは○○で、直したほうがいいところは××です。

判 定 判定に入ります。（以下の3つのタイプから一つ選んで行う）

【タイプ1】フローシートに試合を記録しながら見ていました。私は分かりやすかった方を勝ちにしました。わかりやすい説明をしていたのは、
【肯定側／否定側】ですので、私の判定では、【肯定側／否定側】の勝ちです。

【タイプ2】フローシートに試合を記録しながら見ていました。_____というところが 私にはわかりやすかったので、私の判定では、【肯定側／否定側】の勝ちです。

【タイプ3】フローシートに試合を記録しながら見ていました。_____というところが _____のように私にはわかりやすく、
【メリットよりデメリットが／デメリットよりもメリットが】大きかったので、私の判定では、【肯定側／否定側】の勝ちです。
お疲れ様でした。握手をどうぞ。

2学期のディベートでは、クラス内でチームを作り、実際に試合を行っています。

1. ディベートの事前準備

- 論題を決めます。論題は「」です。
- テーマについて調べて情報を集め、肯定側・否定側それぞれの立論を組み立てましょう。
- ディベートを行う前に、チーム内での話し合いが大切です。

2. ディベートの主な内容

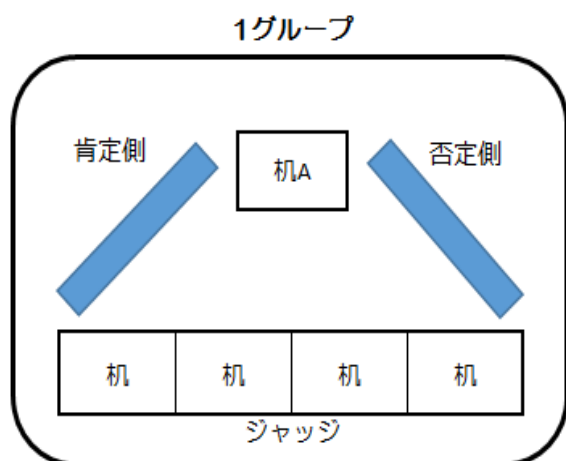
- 試合については、各クラス内で行います。
- 各クラスで、チームを作ります。(1チーム4～5人)
- 探究基礎の時間を使い、1時間に2試合から3試合行います。
- 全てのチームが肯定・否定・審判(ジャッジ)の3つの立場を経験します。
または、トーナメント形式で行い、クラスで準決勝・決勝を実施します。

3. 試合会場づくり (ディベートの試合形式)

ディベートの試合会場づくりのため、一つのグループで図のように机、イスを配置します。

(イスや机の数は、グループにより調整します)

各クラス、グループの配置もその時の試合数によって変わります。



- **授業開始前に** 荷物を廊下に出し、図のように会場づくりをする。
- 審判(ジャッジ)には机とイス4～5脚を用意。
- 肯定・否定側にはイスのみ用意する。(各4～5脚)
- ディベートに必要なないイス、机は教室の角へ移動させる。
⇒できるだけ広いスペースでディベートを行きましょう！！
- 試合中の発言については、中央の机Aにて行う。
※ ただし、質疑の時間については、机へ移動せずに行う。

4. 試合の流れ（『探究基礎』の授業では次のようなタイムテーブルで行います）例

		それでは、試合を始めます。論題は「〇〇〇〇」です。	時間
①	肯定側の立論	初めに肯定側立論です。時間は3分間です。始めてください。	3分
②	作戦タイム	作戦タイムに移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
③	否定側の質疑	否定側質疑に移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
④	否定側の立論	否定側立論です。時間は3分間です。始めてください。	3分
⑤	作戦タイム	作戦タイムに移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑥	肯定側の質疑	肯定側質疑に移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑦	作戦タイム	作戦タイムに移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑧	否定側の第一反駁	否定側第一反駁です。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑨	肯定側の第一反駁	肯定側第一反駁です。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑩	作戦タイム	作戦タイムに移ります。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑪	否定側の第二反駁	否定側第二反駁です。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑫	肯定側の第二反駁	肯定側第二反駁です。時間は2分間です。始めてください。	2分
⑬	審判員の判定の集計	これより、審査時間に入ります。時間は5分間です。	5分
⑭	結果発表 審判員からの講評	それでは、判定に移ります。 審判の方は、両ディベーターに判定を伝えてください。	
			29分

5. 試合までの準備

チーム内で、論題についてディベートの試合ができるよう、資料や原稿、役割分担などを準備しておく。

- 否定側・肯定側のどちらの立場でも、ディベートができるように準備をしておくこと。
- 予想される質問やそれに対する答えも準備しておくが良い。
- 論題について深く調べる！そうすることで、相手からの質問や反論が予想できる。
また、自分たちがすべき反論や質問をあらかじめ考えて準備することができる。
- 資料からの引用などを用いて、論理的に意見を述べること。
- ディベートはあくまで、**ジャッジを説得するゲーム**です。
対戦相手を論理や言葉で打ち負かすゲームではないことをお忘れなく！

6. 試合について、先輩からのアドバイス

- 1つの問題に対して、様々な考え方、見方、意見、主張があるので、たくさんいろいろな資料を収集しておくことが必要である。（肯定・否定どちらの意見でも使えるように）
- 資料は具体的であると説得力がある（出典を明らかにすること）
- 資料を参考に、自分たちの意見を論理的に展開できるように準備しておこう。
- フローシートは色分けして、相手の言ったことを聞き逃さず、活用しよう。
- ワークシート（立論・予想される質疑と反駁）を全員で分担して作成しよう。グループの全員が情報を共有することが大切である。

ディベートの結果は、審判がフローシートから次のポイントを用いてチームの優劣を決定します。各スピーチの判断基準を見て、きちんとディベートできるように心がけましょう。

フローシートをもとに審判全員でジャッジ→終了後全員で協議して決定

- | | |
|---------------|--|
| 立論 | <ul style="list-style-type: none"> • 筋道の通った話し方であったか • 論点と論拠がはっきりしていたか • 話す態度がよかったか |
| 質疑 | <ul style="list-style-type: none"> • 質問の意図がはっきりしていたか • 相手の論理を崩すのに有効な質問であったか • 話す態度がよかったか |
| 第一反駁 | <ul style="list-style-type: none"> • 反論の意図がはっきりしていたか • 話す態度がよかったか |
| 第二反駁 | <ul style="list-style-type: none"> • 新しい論点・論拠は出ていないか • 自分たちが勝っている理由を述べられたか • 反対側の質問内容が生かされていたか • 話す態度がよかったか。 |
| チームワーク | <ul style="list-style-type: none"> • 資料が十分用意されていたか • チームワークが取れていたか • 全員が発言していたか • 時間延長後2回の警告で減点1点 |

コミュニケーション点：実際の試合では、次のようなコミュニケーション点があります。

1. 各審判は、勝敗とは別に、各ステージでのコミュニケーションの要素を評価した「コミュニケーション点」を採点します。コミュニケーション点は、立論・質疑・応答・第1反駁・第2反駁のそれぞれについて5段階（5点：非常に優れている、4点：優れている、3点：普通、2点：改善の必要がある、1点：改善の必要がかなりある）で採点し、合計したものをチームのコミュニケーション点とします。
2. 各審判は、各チームにマナーに反する行為があった場合、チームのコミュニケーション点から最大5点を減点することができます。

ディベートテーマ (プラン)

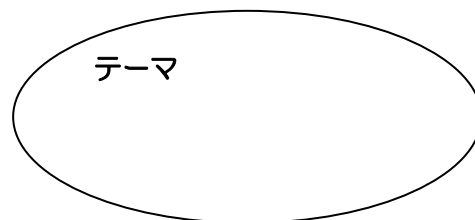
『

』

リンクマップ (5月18日課題)

《手順》

- ① リンクマップの作成 … 論題から考えられるメリット・デメリットをできるだけ多くリンクマップを使いピックアップする。



夏休み課題 ディベートのための資料作成

※グループを作り、ノートを完成させよう。

肯定側 P35~P37、否定側 P38~P40

肯定側

《手順》

- ② 概要情報の収集 … 検討すべきメリット・デメリットの補助となるデータを収集する。
- ③ 最適メリットの選択 … もっとも強いものを選び発生過程を理解し、本当に論理的かを検証する。
- ④ 仮立論の作成 … 立論に採用するメリットが決まったらそれをベースに仮の立論を作成する。
- ⑤ データ収集 … 立論を強化する具体的なデータを収集する。この際、出典を明らかにしておくこと。

プランを導入することにより想定されるメリット (挙げられるだけ書く)

メリット①「

」

なぜそのメリットは発生する？

なぜそのメリットは重要？

→証拠となる資料…本(タイトル、出版社、ページ数)、インターネット(URL、サイト名)など

参考文献の書き方課題研究メソッド P28

メリット②「

」

なぜそのメリットは発生する？

なぜそのメリットは重要？

→証拠となる資料

メリット③「

」

なぜそのメリットは発生する？

なぜそのメリットは重要？

→証拠となる資料

《手順》

- ⑦ 反駁検討 … 立論がほぼ完成したら、考えられるメリットへの反駁を箇条書きにしよう。
(立論の中で、相手に指摘されそうな問題点は？その問題点を解決するためのデータも集める)

•

•

•

- ⑦ +@ 想定質問集 … 立論の中で、相手から聞かれそうな質問とその答えを用意しよう。

•

•

•

否定側

《手順》

- ② 概要情報の収集 … 検討すべきメリット・デメリットの補助となるデータを収集する。
- ③ 最適メリットの選択 … もっとも強いものを選び発生過程を理解し、本当に論理的かを検証する。
- ④ 仮立論の作成 … 立論に採用するメリットが決まったらそれをベースに仮の立論を作成する。
- ⑤ データ収集 … 立論を強化する具体的なデータを収集する。この際、出典を明らかにしておくこと。

プランを導入することにより想定されるデメリット (挙げられるだけ書く)

デメリット① 「

」

なぜそのデメリットは発生する？

なぜそのデメリットは重要？ (深刻性)

→証拠となる資料…本 (タイトル、出版社、ページ数)、インターネット (URL、サイト名) など

デメリット② 「

」

なぜそのデメリットは発生する？

なぜそのデメリットは重要？ (深刻性)

→証拠となる資料

デメリット③ 「

」

なぜそのデメリットは発生する？

なぜそのデメリットは重要？ (深刻性)

→証拠となる資料

《手順》

- ⑦ 反駁検討 … 立論がほぼ完成したら、考えられるデメリットへの反駁を箇条書きにしよう。
(立論の中で、相手に指摘されそうな問題点は？その問題点を解決するためのデータも集める)

•

•

•

- ⑦ +@ 想定質問集 … 立論の中で、相手から聞かれそうな質問とその答えを用意しよう。

•

•

•

ディベート フローシート1

論題 _____

組 番 氏名 _____

肯定側 _____ 否定側 _____

勝者： 肯定側 • 否定側

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	否定側 第1反駁	肯定側 第1反駁	否定側 第2反駁	肯定側 第2反駁
()	()			()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

ディベート フローシート2

論題 _____

組 番 氏名 _____

肯定側 _____ 否定側 _____

勝者： 肯定側 • 否定側

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	否定側 第1反駁	肯定側 第1反駁	否定側 第2反駁	肯定側 第2反駁
()	()			()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

ディベート フローシート3

論題 _____

組 番 氏名 _____

肯定側 _____ 否定側 _____

勝者： 肯定側 • 否定側

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	否定側 第1反駁	肯定側 第1反駁	否定側 第2反駁	肯定側 第2反駁
()	()			()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

ディベート フローシート4

論題 _____

組 番 氏名 _____

肯定側 _____ 否定側 _____

勝者： 肯定側 • 否定側

肯定側立論	否定側質疑	否定側立論	肯定側質疑	否定側 第1反駁	肯定側 第1反駁	否定側 第2反駁	肯定側 第2反駁
()	()			()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

ディベート実践シート1 (本日対戦者記入) (月 日)

ディベートを経験してみたの感想(勝因・敗因、他のチームの意見についての感想など)

今回自分のチームは (肯定側 ・ 否定側) でした。

【良かった点】

【反省点および改善点】

【その他感想等】

ディベート実践シート2 (本日対戦者記入) (月 日)

ディベートを経験してみたの感想(勝因・敗因、他のチームの意見についての感想など)

今回自分のチームは (肯定側 ・ 否定側) でした。

【良かった点】

【反省点および改善点】

【その他感想等】

ディベートを終えて

(月 日)

1 学期から長期にわたって、ディベートの入門から実践まで学んできました。ディベートの実践を終えた今、改めてやってきたことの意義を考えながら振り返ってみましょう。

① 実践のための情報収集をしてみて（冬休みの課題として各班実施）

② 実践してみて（1月22日から4回実施）

ア 肯定側の必勝ポイント

イ 肯定側の難しさとその克服法

ウ 否定側の必勝ポイント

エ 否定側の難しさとその克服法

オ ジャッジをするときに気をつけるポイント

③ ディベート体験は、今後の人生のどんな場面で活かすことができると思うか。

④ ディベートしてみたいテーマ

小論文 入門 ～ 本の帯を作ろう ～

説得力のある作文や小論文を書くときに必要なのは「引き出しと広い視野」
そして、それを培うのは、読書である

夏休みには、まとまった時間があり、読書には最適である。読書感想文は、頭を悩ますところかもしれないが、まずは背伸びせず、自由に本を選んで読んでみよう。

さて、本屋さんで本を選ぶ時、みんなはどこで選ぶだろうか。何を見て、本を手にするだろうか。ポスター。カバー装丁。そして、本の帯。これらは読者が読みたくなるような（興味を持つような）さまざまな工夫がされている。



印象的なイラスト



キャッチコピー



目立つ色と太字

オリジナルの本の帯をつくってみよう。

誰の作品が一番、魅力的だろうか。本を読みたい!と思う本の帯はどれだろうか。
優秀作品は図書室で展示をしたり、読書の啓発活動に利用したりします。

☆ 課題 本の帯の制作

① まずは自分で本を選び、よく読んでおく。これまでに読んだ本でもよい。印象的な部分や、どこを人に読んでほしいかを検討しよう。

条件→本校図書館にある本（借りてもよいし、家に同じものがあればそれでもよい）

③ 用紙・様式は自由。選んだ本は、本校図書館にあるものであれば、ハードカバー、文庫、新書の別は問わない。イラスト、コラージュ、キャッチコピー等自由に。

条件→イラストのみは不可。

③ 提出時の注意!

帯の裏に 組、番号、氏名を書く。実際の本の帯として使えるようにする。

小論文 ガイダンス

1 小論文とは何か

① 小論文と作文との違い

作文＝自分が体験した出来事の感想や気持ち、感動を個人的な心情を中心に自由に書いたもの。

一方、小論文の特徴は、課題として与えられたテーマについて論じる、「小さな論文」。

テーマは現代社会の諸問題であることを念頭におき、自分の立場を明確にして書くことが求められる。

つまり、小論文＝**自分の意見と根拠を論じ、相手を納得させるもの。**

② 小論文に求められる力 = 思考力・知識力・論理力を総合した知的能力！

知的能力 とは

- ・課題について主体的に考え、自分の考えを筋道立てて的確に伝える力。
- ・現代社会の諸問題に目を向け、今後の人間の生き方社会のあり方について深く考察する力。
- ・自分とは異なる立場や意見に目を向け、様々な角度から物事を多面的に捉える力。

小論文で身につけた力 ⇒ **入試のためだけでなく、社会に出てからも役立つ。**

③ 小論文の問題形式について 以下の3つに大別される。

- ・テーマ型 (例)「自由」、「青春」について自分の考えを600字以内で答えよ。
- ・課題文型 (例) 次の課題文を読んで、人と自然とのかかわりについてあなたの考えを述べなさい。
- ・資料型 (例) 以下の図表を参考にし、社会保障制度のあり方について1000字以内でまとめよ。

どの問題形式であっても、課題テーマを踏まえていることが大切。テーマを無視した自分勝手での外れな文は論外！テーマを正確に読み取り、きちんと対応する形で論じることは、現代文の答案でも大切なことですが、ディベートや普段のコミュニケーションでも必要なこと。まずは、テーマ型であれば問われていること、課題文であれば課題文の主旨（その文の最も「言いたいこと」）を的確に把握しよう！それを学ぶために、「小論文書き方ノート」（練習帳）を使います。

2 小論文・・・よくある疑問

① 書き方がわからない！

その理由は.....

- ・テーマに関する知識がない

⇒

どうすれば.....

内容のある小論文を書くためには知識を自分の中に蓄えて、ネタの引き出しをいくつも用意しておく必要がある。そのためには、本を読む。新聞を読む、ニュースを見る習慣をつける！

- ・自身の考えが明確に言葉にされていない ⇒ 発想メモ、構成メモを書く。書き出すことで思考が言語化される。メモを書くことが発想を引き出すことにもなる。

- ② **自分の考えとは？** 「考え」と「感情（好み）」とは違う！
- ・好み＝自分が好きか嫌いか、感情、思いつき ⇒小論文には必要ない。
 - ・考え＝（小論文では）反対意見を持つ人にも理性的に働きかける根拠のあるもの
⇒漠然と考えるのではなく、主体・状況・目的などを具体的に限定して考えるようにする。
- ③ **論理的に書くとは？** 読み手とのコミュニケーション
- ⇒常に「なぜ」を意識する。
 - ⇒読み手が「なるほど」と思うかどうかを意識する。

3 小論文の基本的構成

小論文は内容も当然大切なのであるが、文章の構成にまとまりがないと説得力をもたない。基本的には次の構成で文章を整え、それに伴い段落分けも行う。

テーマ型例題（一例） 「電車の優先席を譲らない高校生について自分の考えを述べよ」

序論（問題提起）全体の約 10～20%

自分が何についてYES、またはNOを言おうとしているのかを説明する。

（例）私は先日電車で優先席を譲らない高校生を見かけた。このような高校生の行動は、道徳的な行動を規範とする日本人の行動として認められるのであろうか。

本論 ①意見提示 全体の約 30～40%

YES、NOどちらの立場に立つのかを示す。自分の立場は必ず明確にする。

（例）確かに、部活や授業など、日々の生活で疲れていることは理解できるが、日本の次代を担う高校生の非道徳的な行動には賛成できない。

②展開 全体の約 40～50%

なぜ自分がYES、またはNOの立場に立つのか、その理由を示す。※ 最も重要！

（例）なぜなら、日本人の道徳性こそが日本という国を形成しているからである。東日本大震災が起きたとき、日本人は世界の人々に賞賛を浴びた。それは.....

結論（まとめ）全体の約 10%

全体を整理して、もう一度、自分の結論をYESかNOかはっきりさせる。

（例）以上見てきたように、私は日本人の道徳性を未来遺産として残していくためにも、優先席を譲らない高校生の非道徳的な行為には賛成できないと考える。

- ☆ よい小論文を書くためには ⇒ 文章の構成を頭の中で練ることが必須！
書く時は、すぐ書き出さず、思いついたことをメモしておく。

発想メモ＝意見を引き出すヒント.....たとえば

- ・まず課題について思いつくことや知っていることを書き出してみる
- ・課題と関連する経緯やニュースを思い出してみる
- ・自分とは逆の立場の意見を想像してみる ※説得力を持たせるために重要！
- ・与えられた課題のプラス面、マイナス面を挙げてみる
- ・「もし～がなかったら」と想定すること
- ・ほかのものと比較してみる ※自分だけの見方にとらわれず、広い視野を持つこと！

4 小論文の基本的ルール

① 原稿用紙の使い方

- ・段落の冒頭は一マス空ける。
- ・句読点は行の最初に付けない。行の最後のマスに「て、」「た。」とする。
- ・縦書きの文章では、「100」を「百」、「%」を「パーセント」など、基本的に漢字、ひらがな、カタカナ以外は用いない。
- ・縦書きで「PKO」や「book」などのアルファベットを使わざるを得ない場合は、「PKO」など略語は縦書きのまま一マスに一字ずつ、「book」などの単語は横書きにして一マスに二字ずつ入れる。
- ・一文は約 60 字とする。字数が～字以内と定められている場合は、90%以上書くようにする。

② 幼稚な言葉を使わない。小論文は文章力や語彙力も試される。

- ・「ぼく」「あたし」でなく、「私」を用いる。
- ・話し言葉を用いない。
「しかし」を「でも」「だって」、「したがって」を「なので」とはしない。
「いろんな」「してる」「なんか」→「いろいろな」「している」「など」
- ・「ら抜き」言葉は使わない。「見れる」「食べれる」→「見られる」「食べられる」
- ・「!」「?」、流行語（マジで、ガチで）や略語（ゲーセン、ファミレス）を用いない。
ただし、「パソコン」など略語が正式名称に近いものは使ってもよい。
- ・基本的に外来語以外はカタカナを用いない。カタカナが多いと文が幼稚に見える。

③ カギかっこの使い方「4つの原則」

1. 小説や音楽などの作品名は、『人間失格』のように二重カギかっこでくる。
2. カギかっこの中のカギかっこは、二重カギかっこでくる。
(例) 彼は、「外国で現地の人から『ノー』と言われて驚いた」と述べていた。
3. 課題文つきの小論文の場合、文をそこから引用する際に、カギかっこを用いる。
(例) 課題文によれば、「日本の国力は衰えている」とあるが...
4. 語句などを強調するために用いる。
(例) 私が考える「公平、公正、迅速」の三大原則は...

SSH・SGH 特別講演会

月 日 曜日 限

講演会では、普段なかなか聴くことができない各界の素晴らしい方々の講演を聴くことができます。

講演から学んだこと、また講演をきっかけとして知りたいことなど、メモして活用しましょう。

講師『
』

講演テーマ『
』

(傾聴力・課題発見力)

○メモ

○今日の講演会で学んだことをまとめよう！

-
-
-

SGH 講演会

月 日 曜日 限

講演会では、普段なかなか聴くことができない各界の素晴らしい方々の講演を聴くことができます。

講演から学んだこと、また講演をきっかけとして知りたいことなど、メモして活用しましょう。

講師『
』

講演テーマ『
』

(傾聴力・課題発見力)

○メモ

○今日の講演会で学んだことをまとめよう！

-
-
-

プレゼンテーション

月 日 曜日 限

・課題研究メソッド P139～プレゼンテーションの技法の中のポスター発表について読み、プレゼンテーションのポイントをまとめよう！

(表現力・傾聴力)

○課題研究メソッド P139、140を読みポスター発表において大切なことをまとめよう

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

メモ

○メモ

SSH・SGH 課題研究発表会

月 日 曜日 限

(課題発見・傾聴力)

先輩や同級生の発表を見て聞いて、次年度以降の自分の発表に活かそう

○メモ

○今日の発表会で学んだことをまとめよう！

-
-
-

先行研究調査・ミニ個人研究

月 日 曜日 限

(課題発見力・探究力)

(1) 課題研究メソッド P32、33 を参考にしながら、研究テーマを設定しよう!

① P32、33 を見て研究したい分野の目星をつける。

② その上で、その分野における研究テーマを、自分の興味関心に絞っていく。

・具体的にどんな研究テーマにするか書き出してみよう

(2) 先行研究調査

課題研究メソッド P49、50、51 ページを読み、自分の設定した研究テーマについて先行研究を調査してみよう

No	先行研究タイトル (論文名)	論文著者	先行論文を読んで学んだこと
1			
2			
3			

(3) (2) の結果をもとに具体的な研究テーマを設定し、実際にミニ研究を始めよう!!

研究テーマ	
研究方法 (課題研究メソッド P52～P58、P17～19 を参考に) ※文献ならば複数あたること、聞き取り調査なら可能な範囲で(クラスメイト、家族など) 実験・観察は家でできること。	
研究計画 ※文献調査は要約なら単なる調べ学習となってしまう。必ず考察を入れること。さらに今後の予定を入れること。	

※発表会について

日時：3月16日(月) 5限

発表方法：A3判画用紙のポスターをつくり、4～5人のグループで発表する。発表時間は一人3分程度

○研究メモ

個人研究発表会

月 日 曜日 限

自身の研究した内容を発表しよう！！またクラスメイトの発表を聞いてディスカッションをしよう！！

（表現力・考察力・論理的思考力）

○メモ

參考資料